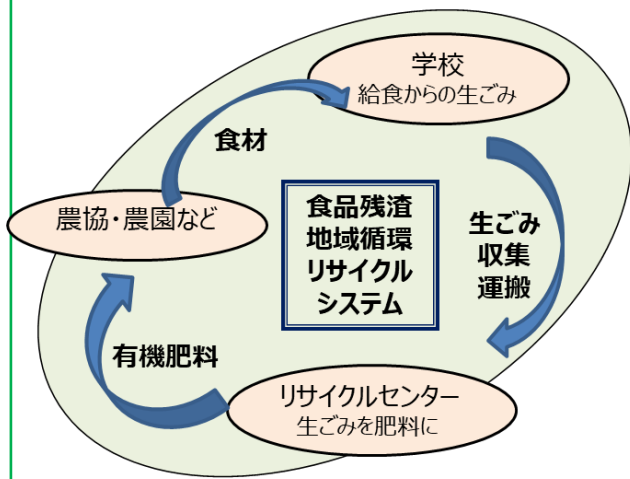


資源はめぐる

食品残渣地域循環型リサイクルシステム

小中学校の給食からでる生ごみなどは
資源リサイクルセンターで
肥料に生まれ変わっています



IGARASHI
資源リサイクルセンターの
トラックが回収



IGARASHI
資源リサイクルセンターでは
今までゴミとして処分されていた
食品残渣や学校給食の食べ残しを
内城菌を使った土壌改良材に
加工する役割を担っています！



作業の流れ

食品残渣地域循環型リサイクルシステム
IGARASHI 資源リサイクルセンター

1 トラック帰還

小中学校などから、専用車で生ごみを回収します。



そして、ふたたび生ごみを回収し・・・



2 バケツを機械前に配列



投入後の～のコンテナは、ただちに高圧洗浄機によって、ていねいに洗われ、清潔な容器となって、ふたたび学校の生ごみ回収容器となります。

3 計量

機械に投入する前に、生ごみの重量をひとつひとつ計量します。



4 機械に食品残渣を投入

機械に生ごみ、内城菌、水分調整材を、機械上部の投入口から、リフターを使って投入します。

水分・成分・通気調整のため米ぬかと混合、内城菌を添加

機械1台につき1回の投入量



5 運転

攪拌しながら80℃～85℃まで加熱し15時間高温発酵処理を行います。

運転中は、700℃の高温で臭気成分を酸化分解し直接脱臭処理を行います。



臭い・騒音・汚排水をほとんど出さない
周囲の環境にも優しい設備です

コンピューター制御された自動運転で、肥料に生まれ変わって出てきます。

6

製品検査の後、袋詰めし、全国に出荷されます。

